

白色のセルに数値・内容を入力してください。色付きのセルには触らないでください。

## 【御代田町】 端末整備・更新計画

2025年3月

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	※算出方法・留意事項は以下のとおり
① 児童生徒数 (人)	1240	1231	1242	1222	1202	・当該年度の5月1日現在の児童生徒数(計画策定時において未確定の場合は推定値を記入すること)
② 予備機を含む 整備上限台数 (台)	1426	1415	964	25	2	・(当該年度の①)×1.15-(基金事業により整備済の台数)
③ 整備台数 (予備機除く) (台)	0	404	797	0	0	・GIGA第2期向けに整備する台数を記入する。基金事業開始後に、基金事業によらずに整備するものがある場合には、当該台数も算入する(基金事業による台数は④に記入する)。
④ ③のうち 基金事業によるもの	0	404	797	0	0	・④と⑦の合計は②以下である必要がある。
⑤ 累積更新率	0%	33%	97%	98%	100%	・[(当該年度までの③の合計)/①]×100 ・基金設置期間中に、累積更新率は100%に達する(端末の整備・更新が完了する)想定である。
⑥ 予備機整備台数	0	60	119	0	0	・GIGA第2期向けに整備する予備機の台数を記入する。 ・当該年度に整備する台数を記入する。基金事業開始後に、基金事業によらずに整備するものがある場合には、当該台数も算入する(基金事業による台数は④に記入する)。
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	0	60	119	0	0	・④と⑦の合計は②以下である必要がある。
⑧ 予備機整備率		15%	15%			・⑥/③×100 ※上限は整備台数の15%
※①～⑧は未到来年度等にあつては推定値を記入する						
端末の整備・更新の考え方	・端末の使用期間が5年以上となる令和7年度以降に順次端末を更新する(令和7年度に中学校1校、令和8年度に小学校2校)。 ・予備機は、端末故障に備え整備台数の15%分を整備する。 ・児童生徒数の微減が見込まれるため、数値について随時見直し、適切な台数となるように留意する。					
更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について	○対象台数:1,299台 ○処分方法 ・使用済端末を教師児童生徒用予備機として再利用 :100台  ・小型家電リサイクル法の認定事業者に再使用・再資源化を委託 :1,199台  ○端末のデータの消去方法 ・処分事業者へ委託する ○スケジュール(予定) 令和7年9月 処分事業者 選定 令和8年3月 新規購入端末の使用開始 令和8年3月 使用済端末の事業者への引き渡し ○その他特記事項 なし					
「⑤累積更新率」が令和10年度までに100%に達しない場合は、その理由	・					

※この計画は「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」の13ページを参考に作成。